



# 朱雀の翼

## よりよい柳沢中生活に向けて



12月に実施した「生徒による学校評価アンケート」の結果を示しながら、今年度の柳沢中学校の教育活動の成果を振り返ってみました。

「行事や生徒会活動、部活動を通じて、成長している」について肯定的回答は90.5%で、昨年度より1.6%増加し、クラスや学年、チームメートなど周りの人たちと協力して自分の成長を実感している人が9割を超えたことがわかります。学校は、他者と協力したり、対話したりしてつながっていくことができるところです。また、行事などで自分を大きく成長させる場所でもあることを改めて知ることができたのではないのでしょうか。

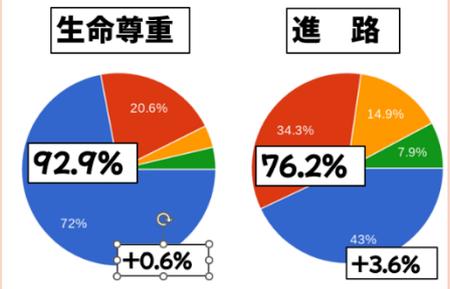
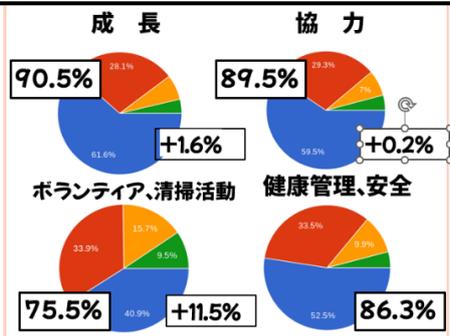
「ボランティアや奉仕活動、清掃活動に対して前向きに活動している」について肯定的回答をした人は、75.7%でした。昨年度は、64.2%と8.7%も落ち込み、人のために何かしたいという「社会貢献」の気持ちの育成が課題でした。

ゆくのき祭りやどんどこ焼きを始めとする地域行事のボランティアや花壇、あいさつ運動、地域清掃ボランティアなどの推進に取り組んできた成果として、参加する人が増えたことは、とても喜ばしいことです。今後もぜひ、人のために何かしたい、人の役に立ちたいと考える人がもっと増えていくといいです。

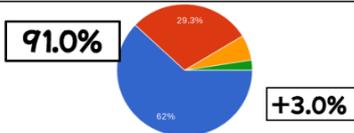
そう考える人が多くなれば多くなるほど、みんなが住みやすい、居心地がよい社会になっていきます。

### 【教育目標】

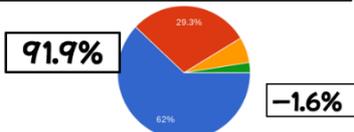
- ・ 広い視野をもち、勉学に励む生徒
- ・ 思いやりのある生徒
- ・ 心身ともに健康な生徒



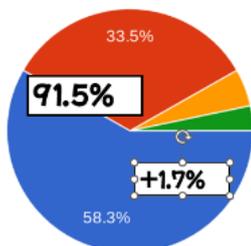
### マナー、ルール(あいさつ、時間、言葉遣い)



### ネットマナー(携帯電話、パソコン)



### 先生は、積極的に相談に応じてくれる。



「道徳の授業を通して、生命の尊重などについて学ぶことができた。」肯定的回答は92.9%で0.6%増加したものの、生命尊重の学習状況に否定的回答をした15人くらいの人たちが気になります。どんなことがあっても1人1人の命は絶対的なもの、かけがえないものです。授業で活用した教材文や授業の流れを振り返り、気づきや学びにつながるような取組にしていきます。

「自らの将来や進路について考えることができた。昨年度より3.6%増加したものの、教育相談アンケートの結果によると「将来の進路に対する不安を感じる生徒」は、26.0%おり、大きい心の揺れが読み取れます。保護者の肯定的回答は84.7%で昨年度より6.8%増加はしました。

高校に進学することがゴールではありません。中学生の今、将来の職業を決められなくてもいいのです。将来、社会人として生き生きと活動している自分をイメージし、自分のいいところを伸ばして充実した人生を歩んでいけたらいいですね。より意欲的に進路学習に取り組んでいけるようにしていきたいです。

「あいさつ、時間を守る、言葉遣いなどや集団のルール」の肯定的回答は、91.0%で3.0%増加しました。昨年度は、88.0%に落ちましたが、先生方の声かけや生活委員会のポスター作成による啓発活動の効果が現れたようです。

「各教科の授業において前向きに学習活動をしている」90.1%で昨年度より5.4%増加し、3年前より、6.6%も増加しています。

「先生たちは、各教科の授業において、目標をはっきりと示し、わかりやすい授業をしている」に肯定的回答をした人は、94.3%で2.0%増加し、3年前より、7.1%増加しています。保護者は87.4%で0.7%減少したことは注視したいです。

11月の教育相談アンケートでは、「勉強にやる気が出ない」と答えた人は39.0%、2月の教育相談アンケートでは、32.0%でした。このことから、前向きな自分に気持ちを切り替えて勉強を頑張っている人が増えたことがわかります。

また、「私は、宿題（提出物）や家庭学習に積極的に取り組んでいる。」は、77.5%で昨年度より1.6%減少しました。保護者は、77.0%で2.2%増加しました。50分の授業だけでは、学力の定着は、厳しいです。人間の忘却率は、時間がたてばたつほど高くなっていきます。授業で学んだことをしっかりと定着して自分のものにするためには、やはり繰り返しの復習が大事です。自主学習ノートの取組を推進し、努力賞として表彰したり、地域の方による放課後学習教室（めえめえ学習教室、水曜サプリ）を活用したりして「自学の力」を身に付けていきましょう。

いつの時代にも、「なぜ勉強するのか」「勉強とは何か」と悩んでいる中学生は多くいるのではないのでしょうか。本当の学びには、まず、基礎的・基本的な知識・技能が必要です。それが土台にあつてこそ、深い学びに繋がっていくのです。中学時代は、覚えなければならぬことが多くあり、辛抱が必要なので、先生たちもただ暗記する学習にならないよう工夫して授業をつくっています。

例えば、英語の単語をより多く知っていれば、それらの単語を使って表現ができるようになり、ChallengeEnglishDayなどで会話ができると嬉しく感じたり、自信になったりします。もっと知っている単語を増やしたいと思うと、進んで英単語の勉強をするようになるのではないのでしょうか。それこそが、主体的に学ぶ生徒の育成、つまり、教育目標の「勉学に励む生徒」を育てているのです。

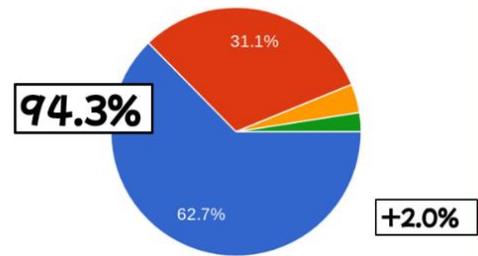
私は学校に行くのが楽しい」に肯定的回答をした人は、86.3%で、9割を超えられず、残念です。しかし、毎年、少しずつ増加しています。

学校は、自分の好きな活動ばかりではなく、苦手なことや嫌だなと感じる活動もあるかもしれません。運動は好きだけど勉強が苦手、物を作るのは好きだけど、話し合い活動や発表は苦手。学校は、苦手なことも取り組む場面があるかもしれませんが、義務教育の今は、日々の経験が自分の成長、自分の栄養になるととらえてみてはいかがでしょうか。

「先生たちは、積極的に相談に応じる」91.5%「健康管理に気を付けて安全な学校生活を送った」86.2%といづれも増加しています。目に見えない体のことや心の健康は、今後も自分で気を付けていきましょう。「学校の発信力」は、90.5%で14.1%と大きく増加しました。継続して発信し、情報共有をしまいいります。

今後も教職員一同、魅力ある学校づくり、社会に開かれた学校づくりに努力してまいります。

先生たちは、各教科の授業において、その授業の目標をはっきりと示し、わかりやすい授業をしてくれている。



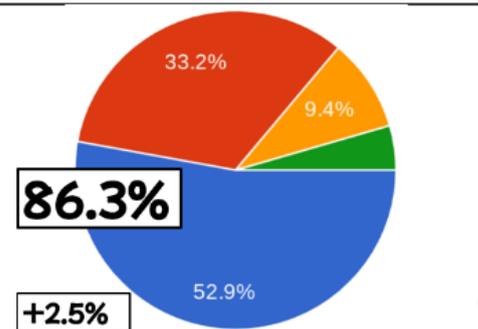
私は、前向きに授業に取り組んでいる。



私は、家庭学習に積極的に取り組んでいる。



私は、学校に行くのが楽しい。



学校は、ホームページや学校通信や学年通信等で学校の様子をわかりやすく伝え、PTAや地域の会合でも、学校の取組を積極的に発信している。



学校は近隣小学校や地域と連携して教育活動に取り組んでいる。



## お知らせ

卒業証書には「学校印」と「校長印」が押してあります。割印（縦長の印）は本市の規定に沿って押印しておりませんが、卒業証書の効力に問題はありません。ご安心ください。

